

(特非) みえNPOネットワークセンター

環境分野を始めとした政策提言等を 地域から行う仕組みづくりと若い世代の NGO/NPOへの参加促進

ひろげる助成

3年目

実践

伊勢志摩サミット
2周年イベント

85人

働き方アンケート

100人

今年度計画の達成度

92%

目標達成度

90%



市民の伊勢志摩サミット2周年記念イベント

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

- イベント広報と集客
- 各幹事団体へのタスクの振り分け
- 各幹事団体の事業を考慮したことによるイベント開催時期の偏り

■ 工夫した点

2周年イベントでは幹事会に定期的に進捗表を更新し、1タスクに掛る時間や人数を共有、各団体にタスクを振り分けないと活動の持続ができないことを認識してもらった。

課題

- ① 市民社会における「主体間の連携の不十分さ」
- ② 市民社会における「若い世代の育成の不十分さ」
- ③ 市民社会からの「政策提言力の不十分さ」

目標

東海地域のNPOの政策提言力が高まり、政策に影響を与えている。NPO・地域団体など、市民社会の多様な主体が交流している。若い世代のNPOへの参加者が増加する。

活動内容と成果

- 市民サミット2周年イベントを開催し、次年度大阪で開催されるC20に関する意見交換やSDGs現状について共有ができた
- 2回政策提言に関する研究や講座が開催し、行政と協働する上でのジレンマや協働する際のコツを学んだ
- 幹事会にオブザーバーとして若手の団体代表に参画してもらい、ネットワークの拡充を図った
- 「東海3県NPOスタッフ働き方アンケート」を実施し、100人の回答を得られた。また、東海3県の中間支援団体に広報協力を得ることができ、地域で働き方を変える・働き方を意識する機会となった



東海市民社会ネットワーク研究会@愛知



東海市民社会ネットワーク研究会@三重

全助成期間の活動を振り返って

東海市民社会ネットワークは、2016年の「市民の伊勢志摩サミット」をきっかけではあったが、これまで3年間政策提言をテーマに定期的(年2回)の研究会やサミットの周年記念イベントを継続し、これまでなかった東海3県のNPOの協働が形になりはじめた。今年度からはSDGsというテーマも掛け合わせ、SDGsを共通言語に行政・大学・企業などセクターを超えた連携の一步が踏み出せた。

| 活動地域 |  三重県

〒512-8512
三重県四日市市萱生町1200 四日市大学9401
<https://www.mienpo.net/>



今後の展望

市民サミットで作成した提言書のその後検証していくことで、2016年の市民サミットの参加者の掘り起こしをしていく。さらに「SDGs」や「協働」をキーワードにこれまで参加しなかった団体や若い団体に参画をしてもらう。また、東海3県でNPOの働き方について考える場づくりをしていき、NPOの働き方の問題点や良い働き方の事例を共有していく。